

FMEA・DRBFMの本質的理解と実践法

開催日時 **2025年11月26日(水)**
10:00~17:00

会場 日本能率協会 研修室 (東京都港区芝公園)

対象

- 開発、設計、技術、品質保証部門の方
- 若手・中堅エンジニアの方
- 設計の品質を向上させたい方

講師 **柏木 茂吉 氏**
(株)日本能率協会コンサルティング
シニア・コンサルタント

参加料(税込)

| | |
|------------------|------------|
| 一般社団法人日本能率協会法人会員 | 52,800円/1名 |
| 上記会員外 | 59,950円/1名 |

※参加料にはテキスト(資料)費が含まれています。
※昼食の提供はございません。(各自でご用意ください。)
※法人会員ご入会の有無につきましては以下URLにてご確認ください。
<https://www.jma.or.jp/membership/>
※お申込みページ内参加申込規定を確認・同意のうえお申込みください。

ねらい

設計品質向上に向けて、多くの企業ではFMEAやDRBFMといった未然防止手法に取り組んでおられますが、思ったように品質が向上せず、結果的に設計管理や顧客提出のための手段になってしまっている企業が多く見受けられます。

これは技術者の発想力を引き出す考え方や活用方法の理解不足、手法導入のプロセスに問題があることに起因しています。

本セミナーでは、特に企業の皆様がどこでつまずくのかを丁寧に紐解き、職場で実践する方法を一緒に考えていきます。

本セミナーで修得できること

- ✓ 技術者の発想力を引き出すツールとして活用できるようになる
- ✓ ワークシートを埋めるだけでなく、本質的な考え方が身につく
(Ex:故障モードをどう見つけるか、変化点の見つけ方)
- ✓ 過去トラから現象基点で考える等、故障モードの出し方を習得する

参加者の声

- ・実現場の話を交えながら教えていただいたので、参考になりました。
- ・各開発プロセスにおいて「振り返る」ことができれば、品質向上につながるのだということがわかった。
- ・FMEAやDRBFMのプロセスが理解できた。今後、実践でもアウトプットが良くなると思う。
- ・ワークシートの勘どころや考え方、演習を通して手法が理解できました。
- ・体系としてまとめられた方の思いを知ることができたので、ポイントが明確になった。

■ プログラム

10:00~17:00 [昼食] 12:00~13:00

1 設計品質の問題と改善に向けた着眼

- 品質を支える組織の要素
- 品質向上のための組織的学習

2 未然防止とは

- 未然防止のための第一歩

3 未然防止実現のための手法

- (1)DRの基礎
- (2)FMEA
実習 FMEAの実施
- (3)DRBFM
実習 DRBFMの実施

4 職場での実践ポイント

- (1)職場実践のポイント
 - 部門間のインターフェースに着目して問題を発掘する
 - 振り返りの徹底
 - 効果の測り方
 - 各手法の使い分け
- (2)他社事例に学ぶ

5 まとめ、Q&A

- (まとめ、Q&A)

※プログラム変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

